

<p style="text-align: center;">Devotion Guide/ユースマナ</p> <h1 style="text-align: center;">Youth Manna</h1> <p>マルコ1:35 さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/6(月)</p> <h2 style="text-align: center;">ネヘミヤ4章</h2> <p>20節「私たちの神が私たちのために戦ってくださるのだ。」 城壁再建工事の知らせが届くと、敵は怒りに満ちた。あざけりの攻撃に対してもネヘミヤは、知恵深くすぐさま神に祈った。敵への恐怖を感じる民に対しては励ましと勇気を与え、いざという時の戦いの体制も整えながら工事を進めていくこととなった。 自分が成し遂げたいと思った物事に対して、何か妨げを感じた経験はないだろうか？その時に、神様を信じる私たちは20節にあるように、主と一緒にいて戦ってくださる、と思うことができる。目の前のことでいっぱいになってしまったりかもしれないが、まずは主に委ね、ともに解決して下さることを信じよう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/7(火)</p> <h2 style="text-align: center;">ネヘミヤ5章</h2> <p>敵の攻撃の次にネヘミヤたち神殿再建チームが直面したのは内部の問題だった。貧しいユダヤ人たちは生活苦のために同じ主の民の中の富んだ者たちから借金をしていた。聖書は主の民が経済的に配慮しあって助け合うことを命じている(申23:19)。しかし富んだユダヤ人たちはその配慮に欠けており、貧しい者たちは苦しんでいた。 私たちの周りにもお金だけじゃなく、いろんな面で助けが必要な人がいるのではないだろうか？ 時にはネヘミヤがしたように、友たちのために自分が我慢した方が良いこともあるだろう。その人のためにあなたができることは何だろう？</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/8(水)</p> <h2 style="text-align: center;">ネヘミヤ6章</h2> <p>城壁再建工事の完成が近づくと、敵からネヘミヤへの個人攻撃が激しくなった。工事を邪魔しようとする会話を繰り返して勧められたり(1-4)、ネヘミヤたちがペルシアへの反乱を企てていると嘘の噂が広められたりした(5-7)。さらに、敵に買収された預言者がネヘミヤに脅しをかけた(10-13)。これらの問題の中で、ネヘミヤは祈って全てを神に任せた。そして、神が働いてくださったことにより城壁再建工事は52日で完成した。 ネヘミヤは問題がある中で、神に祈り、問題の本質を見抜いて対処した。問題が続く中でも、全てを神に任せることができるよう祈ろう！</p>
<p style="text-align: right;">2022/6/9(木)</p> <h2 style="text-align: center;">ネヘミヤ7:1-60</h2> <p>今日の箇所は、少し前にエズラ2章で読んだ内容とほぼ同じ、第一回帰還民の名簿である。意味があるのだろうか？と思うが意味があるのだろう。 門を取り付けて城壁は完成した(1節)。だが城壁があれば安全ということではなく、そこをしっかりと守り警備する働き人を任命している。(2節) これは教会にも同じことがいえる。会堂があれば良いのではなく、集まる一人一人が整えられていく必要がある。 7節以後の名簿をつくり明確にしたのも、5/28,29の礼拝で学んだように、出所を明らかにして純粋なユダヤ人のみ、と明確にしたということであろう。 聖書にはまだまだ私たちの理解できない領域、考え方があふれている。だからこそもっと聖書の理解を深めよう！今週もまた一歩神様に近づける歩みをしよう！！</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/10(金)</p> <h2 style="text-align: center;">ネヘミヤ7:61-72a</h2> <p>▶今日の箇所もエズラ2章の帰還民リストとほとんど同じ内容が書かれている。ただし、書かれた背景は少し異なる。エズラは帰還の歴史に焦点を当てて書いた。一方ネヘミヤは、エルサレム復興の困難に直面するなかで、歴史からヒントを得るために書いた。 ▶同じ出来事や同じ聖書箇所をみても、自分自身の状況や読む人によって、受け取ることが変わったりする。主が私たち一人ひとりに、日々生きて働いておられるからだ。家の教会の交わりでは、神様が与えてくれた、それぞれ異なる恵みを分かち合うことで、主をより深く知ることができる。 ▶今日はユースセルがお休みだからこそ、ともに分かち合える仲間存在を神様に感謝して、その信仰の友のために祈ろう。</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/11(土)</p> <h2 style="text-align: center;">ネヘミヤ7:72b-8章</h2> <p>イスラエルの人々が集まり、律法を語るエズラを通してみことばが語られたね。その時、人々は夜明けから真昼までの長い間みことばに耳を傾けてそして泣くほどに礼拝をしたんだ。神様のことが人々の心にもしっかりと届いたんだね。そして神様のことが受け取った人々は、さらに律法を読みそこに書かれている仮庵の祭りをとても誠実に準備しておこなった。 私たちも神様のことが心から受け取れるように祈ろう！礼拝から受け取ったことを、実際の生活の中で行動にしてみよう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/6/12(日)</p> <h2 style="text-align: center;">ネヘミヤ9:1-15</h2> <p>神様の恵みによって信仰が与えられたイスラエルの民は、これまでの自分たちと先祖たちの罪を認め、立ち上がって主の前に告白した。みことばを読み、神様に向かって礼拝を捧げた。何度も繰り返されてきたことのように感じるが、神様は恵みによって、信仰者を心からの悔い改めに導き、みことばに立たせて下さる。 彼らはイスラエルと契約を結ばれた神様に向かい「あなただけが」唯一のお方であることを告白する。私たちにあって、見上げるべきお方は「あなただけ」となっているだろうか。他にいろいろなものや並べてしまっているものはないだろうか。 申命記6：4「聞けイスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。」 このみことばが、自分の心からのものとなるように祈ろう。</p>